

令和5年3月22日

## 令和4年度 なかよし保育園の取り組みと成果

なかよし保育園では、子ども一人一人の成長発達を把握し、子どもの興味や関心に即した豊かな経験ができるよう、職員間で話し合い、研修に努め、教育・保育を行ってきました。その取り組みと成果、今後の課題についてまとめたものをお伝えさせていただきます。

### 【取り組みと成果】

#### ○教育・保育内容について

・子ども達一人一人の興味や関心を大切にし、生活や遊びが子ども主体となるよう、子ども達の気持ちに寄り添い、保育者も一緒に遊ぶ中で保育環境を整えることに努めてきました。子ども達の遊びやその中の学びを職員間で語り合うことで、子ども達への理解を深めることができ、適切な言葉掛けや環境構成、援助等について保育の知識を深めることができました。



新聞紙遊び

・インクルーシブな教育・保育の質の向上を図るため、研修を行いました。子ども達の気持ちを理解することや言葉掛け、関わり方などについて学び、それらが職員の意識改革へとつながっていきました。また、保育の中で、ポルトガル語を取り入れたり、視覚支援を行ったりすることで、子ども達が安心して園で過ごすことができるように関わることができ、信頼関係を築くことにつながっていきました。

#### ○保護者との連携について

・園での子ども達の遊びの様子や成長をお伝えすることができるよう、保育参加や個人懇談を行ったり、活動写真や子ども達の学びに関するドキュメンテーション、クラスだより等の発信を行ったりしました。遊びの中の学びの姿や人との関わりの中で成長している姿を保護者の方と共に喜び合えたのではないかと感じています。



どろんこあそび



ネイチャーゲーム  
(草花の香りの違いを感じています)

#### ○地域との連携について

・コロナ禍で地域の方との交流を十分にもつことができませんでしたが、環境学習の講師を外部の方に来てもらい、五感を使って自然体験をすることができました。普段気付かない発見や自然とのつながりに気付くことができ、子どもたち自身が保育の中に取り入れながら遊ぶ姿につながっていき、実際に体験することの大切さを子ども達の姿を通して感じることができました。

### 【課題】

・子ども達の遊びやその中で学びについて語り合う機会をつくりました。しかし、時間を確保して定期的に語り合うことが難しかったです。子ども達の生活や遊びの場が主体的となり、子ども一人一人の育ちにねらいや願いをもって保育に取り組んでいくことができるよう、環境や援助など保育者の役割について語り合う時間を確保し、子ども一人一人の気持ちや発達に寄り添ったよりよい教育・保育に努めていきます。

・子どもの人権について、保育の中でどうとらえていけばよいのか職員間で共通理解し、実践の中で生かしていくことができるよう、子どもの人権に対する意識を園全体で高め、保育の在り方を考え実践し、よりよい保育につなげていきます

・クラスだよりやドキュメンテーション等の発信が一方的になってしまったので、保護者や地域の方に伝わりやすい伝え方について話し合い、実践したり、発信に対しての感想を聞いたりするなど、園と保護者とのやり取りも行うことができるように保育の可視化を行い、保護者や地域、小学校へ保育の発信に努め、連携を深めていきます。

・ヒヤリハットや避難訓練について職員間で話し合う時間をもつことができませんでした。避難訓練ではねらいを明確にし、職員の役割について共通理解ができるようにし、園の安全管理や危機管理への意識を高め、災害時や緊急時に全職員が適切に対応できるようにします。

### 【来年度の改善方策】

・子ども主体の遊びの実現に向けて、環境づくりや保育者の援助、関わり、遊びの連続性について職員間で語り合う機会を定期的にもち連携がとれるようにします。また、園内研修において遊びの環境や保育者の関わり方を話し合い、実践を積み重ね、全職員の教育・保育の質の向上に努めていきます。

・子どもの思いや人権を尊重する関わりについて職員間で考える機会をつくり、保育の場面を語り合い、振り返ることで、子ども一人一人の人格を尊重した保育を行っていきます。

・保護者や地域の方が園の活動や子ども理解を深めていただけるよう、園での育ちや学び等をドキュメンテーションやクラスだより等で伝えていきます。また一方的な発信ではなく発信に対してのコメントをもらうなどやり取りも大切にしていきます。

・園の安全管理、危機管理への意識を高め、全職員が具体的な対策や対応ができるように毎月行う職員会議時に避難訓練のねらいの再確認をしたり、ヒヤリハットを持ち寄り原因や対策について話し合ったりするなど、職員が共通理解できるように取り組んでいきます。



おまつりごっこ